

## 令和4年度第1回伊賀市空き家等対策協議会議事録

日時 令和4年8月2日（火）午前10時から  
場所 庁議室  
出席 浅野委員、池澤委員、西委員、前川委員、鈴木委員、奥井委員、中川委員、  
中井委員、林委員、山本委員、古川委員、田邊委員、大森委員  
事務局 建設部 山本部長、福田次長、  
空き家対策室 森口室長、武田主幹、中澤主任、今井主任  
傍聴人 0人

### 協議事項

1. 開会挨拶 建設部 山本部長  
空き家等対策協議会 浅野会長

### 2. 報告事項

- |                      |           |        |
|----------------------|-----------|--------|
| ①令和3年度空き家相談会の開催状況    | [資料1により説明 | 説明者武田] |
| ②空き家問題に関する地域懇談会      | [資料2により説明 | 説明者森口] |
| ③特定空き家指導状況           | [資料3により説明 | 説明者中澤] |
| ④空き家活用テレワーク施設整備補助金事業 | [資料4により説明 | 説明者武田] |
| ⑤お試し移住事業             | [資料5により説明 | 説明者今井] |

(委員) 空き家相談会について、よくある質問と回答を作成してはどうか。よりの確に回答することができ、日常の相談業務にも使える。

(事務局) 今後、作成したい。

(委員) 「空き家活用テレワーク施設整備事業補助金」及び「お試し移住施設利用促進助成金」の実績について。

(事務局) 空き家活用テレワーク施設整備事業補助金については、現在事業者を募集しているところである。お試し移住の施設登録は2軒。施設利用促進助成金については、7月から運用を開始したところであり、現在のところ申請はまだない。今後は、伊賀市に移住を検討している空き家バンク登録者にも周知していきたい。

(委員) 空き家の現状を把握しているのか。

(事務局) 2015年度に空き家調査を行って以降、部分的な調査は行っているが全地域の再調査は行っていない。実態を把握する必要があることから、次年度以降調査を行いたいと考えている。

(委員長) 補助金を活用して空き家の除却をしたケースについて、除却後、土地活用されているか追跡調査を行ってはどうか。

(事務局) 除却後ことは把握していないため、その後の活用方法や、草木が繁茂していないかなど追跡調査を行いたい。

(委員長) 伊賀市の空き家対策が成功しているのは、住宅施策に位置づけず市民相談部門に配置していることが大きい。公営住宅の延長でなく、民のやり方を取り入れた空き家対策であったと思う。今は空き家対策室ができた当時のメンバーがいるが、今後人事異動により人が代わっても引き継いでいってほしい。

- (委員) 古民家の移築費用の補助金はあるのか。貴重な古材など再利用すべきである。
- (事務局) 補助金はない。ニーズがあるのかわからない。
- (委員) 古民家再生指針にもあるように歴史的資源を活用していくため、古材の再利用を促し、うまく物が流れていくようにしたい。
- (委員) 除却補助金について、除却後の活用により優先度や加算が考慮されることになれば、郡部はなかなか活用とはならない。危険度から判断するようにしてほしい。
- (事務局) 除却補助金を利用したいというケースが増加している。どう判断していくかになる。

### 3. 審議事項

#### ① 空き家バンク事業の見直し検討 [資料 6 により説明 説明者今井]

##### 課題 1 物件登録について

→固定資産税の通知書に空き家バンクの手紙を同封する。

- (委員) 独居世帯に手紙を送付してはどうか。
- (委員) 終活については今までは触れない話であったが、これからは違う。社協と市の福祉部局とが連携して取り組みを進めてほしい。
- (委員) 全件送付するよりも納税者が市外の人を対象として送付してはどうか。
- (委員) 相続人代表として記載しているものに送った方が効果的ではなか。
- (事務局) 対象者を絞り効果的な方法で送付する。

##### 課題 2 内覧・交渉などについて

→交渉期間を 1 カ月に変更。内覧は不動産業者にも同行してもらう。

- (委員) 交渉期間は 1~2 週間で十分。提出する書類は「交渉申込書」ではなく「購入申込書」と変更してはどうか。
- (委員) 長くても 3 週間、でないともより良い条件で売れなくなってくる。
- (委員) 本当に購入したい人は短期間に決める傾向にある。
- (委員) コロナ禍のため中断しているが、以前は不動産会社も内覧に同行していた。

##### 課題 3 利用登録 (若者層の取り込み)

→移住コンシェルジュと連携したイベントの実施。

- (委員) 空き家バンク物件を購入すれば得がある等、お得感を考えてはどうか。
- (委員) 子育て施策を充実させることにより、魅力を感じ若者世帯が移住してくれると思う。市全体の施策として取り組んでほしい。
- (委員) 移住者に来てもらいやすいと若者がこの地域にいたくないは相反すること。市の施策としてどうすれば若者に住んでもらいやすくするのか。仕事する場所(雇用)が大事となってくる。

##### 課題 4 利用登録について

→利用登録のオンライン化

- (委員長) 事務局案のとおりオンライン化を進めてもらいたい。

#### ② 令和 4 年度特定空家略式代執行計画 [資料 7 により説明 説明者中澤]

- (委員長) 計画どおり進めていってもらいたい。

#### ③ 地域懇談会の計画 [資料 8 により説明 説明者森口]

- (委員) 福祉分野とも関わってくるため、共に取り組みを進めてほしい。

### 4. その他

#### ① 委員改選について

委員の任期が9月末までとなっている。各団体に推薦依頼を行う予定